

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of basal-cell carcinoma: comparison of radiotherapy and cryotherapy	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	B C C C Q 1 1 - 1 3	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (II)	
	Pubmed ID	3514075	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Clin Radiol	
	雑誌 ID		
	巻	37	
	号	1	
	ページ	33-4	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1986 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Hall VL	Royal South Hants 病院
	その他著者 1	Leppard BJ	同上
	その他著者 2	McGill J	同上
	その他著者 3	Kessler ME	同上
	その他著者 4	White JE	同上
	その他著者 5	Goodwin P	同上
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	基底細胞癌に対し放射線療法と cryotherapy のどちらが再発率が低いかを検証。	
	研究デザイン	ランダム化比較試験	
	セッティング	Royal South Hants 病院	
	対象者	93 例の基底細胞癌 発生部位：顔面・鼻 70 例、眼瞼 9 例、体幹部 14 例 腫瘍径：1 cm 未満 38 例、1～2 cm 48 例、2 cm 超 7 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入（要因曝露）	放射線療法 表在 X 線装置（130kV） 7 Gy x 5 回、6.5 Gy x 3 回、3.75 Gy x 10 回 Cryotherapy -25 度～-30 度で 1 分間／1 回、2 回／病変	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所再発率	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2	整容性	1.主要 2.副次 3.その他 (2)
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
6		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	再発率 放射線療法 4%、cryotherapy 39% 整容性 放射線療法 スコア 1.35、cryotherapy 1.43（有意差なし） その他、痛み、出血、浸出液などは両者に差なし		
結論	基底細胞癌では cryotherapy に比べ放射線療法の再発率が低い。		

	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間 直人
	レビュワーコメント	<p>基底細胞癌で最も標準的治療と考えられる手術療法をコントロールアームにしておらず、この試験では放射線療法と cryotherapy を比較しており、やや違和感あり。放射線療法に関しても現在頻用されるスケジュールとは言えない。登録症例数の設定の根拠も示されていない。95%信頼区間も示されていない。Intention-to-treat での解析もされていない。ランダム化比較試験のなかでは質の悪いものと判断せざるを得ない。</p> <p>レベル II</p>